

愛の家

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団



愛の家

- コロナ禍でも季節感を
- 子ども達の学び
- 新たな作業について
- 施設長：眼に見えぬ敵との戦い (PartII)

あいハート須磨・離宮前

- 「ノーリフトケアの導入・定着」を目指して
- 選択プログラム『書道教室』
- 在宅での看取りに関わり気づいた事
- 命

理事長：就任のご挨拶

第1四半期運営状況

ご寄付について

あいハート須磨
利用者様の
作品



254号

2021 August

「コロナ禍でも季節感を」

●かがやきスタッフ 濱田 佳乃

先日、愛の家で新型コロナウイルスのワクチン接種が行われました。今までの健康診断や予防接種などの経験からか、利用者さんに混乱はなく、とてもスムーズに進みました。

現在、帰宅・敷地外への散歩や買い物もままならず、利用者さんは少々欲求不満気味で、最近では「お買い物行きたいなあ」「ミカン狩り行きたいなあ」など、したいことが膨らんでいるように見受けられます。

そこで私たちは、少しでも季節を感じてもらいたいと思い、昨年のクリスマスから、毎月、折り紙などを使って壁面飾りを作っています。出来上がりに対する反応はさまざまですが、「あつ、変わった」「なんやろな？」など何か感じてもらえればと思っています。中には面白いところに着眼される利用者さん多いて、笑わせてもらっていることもあります。



一方、外には季節を感じるにはもってこいの大きな運動場があります。今は運動不

足の解消が目的になっていますが、運動場に出ると「桜満開やなあ」「寒いなあ」「暑いなあ」「台風くるんかなあ」「あの雲へんな形やな」「蛙やー」「トンボ飛んでる」「蝉、鳴いている。」など、季節を発見したり、肌で感じる事ができます。

また、時々ですが利用者さんとドライブに行くことがあります。途中車から降りてどこかに行くという事はできないのですが、帰ってきてもなかなか車から降りてくれません。

みなでお出かけができるようになって日もそう遠いことではないと思っていますが、しばらく利用者さんと外出するということに慣れていない私たち職員の方が大変になるのかなと思いつつも、その日が「日も早く来ることを待ち望んでいます」。

一生のうち何度か経験する事はないであろう厳しい状況ですが、その中から始まったこともたくさんありました。でも、そろそろ平穏な日常を送りたいですね。

子ども達の学び SST (Social Skills Training) を 通して歯の磨き方を学ぶ

●きぼうスタッフ 大矢 紗夜

きぼうでは、毎週土曜日にSSTをおこなっています。SSTとは日常の生活を営む上での生活スキルを身に付ける訓練で、毎月テーマを変えて実施しています。今回のテーマは「歯磨きの仕方について」でした。



「それ何ー??」子ども達の前に歯の模型が登場すると、みんな興味津々に見ていました。まずは、歯の仕組みについて説明をしました。歯は歯茎によって支えられていることや強く歯磨き

をすると歯茎が炎症を起こすことで歯が抜けてしまうことなどの話をし、模型を使い歯が抜ける様子を見せました。模型は歯を引っかくと歯茎から抜けるようになっていきます。

それを見た子ども達は「何それ!!」「歯が抜けた!!」と目を丸くして驚いていました。また、歯磨きをしなかったりすると、虫歯になって痛い思いをするだけでなく、同じく、歯が抜けてしまう話をしました。

説明の後、子ども達に歯の模型と歯ブラシを使って磨いてもらいました。どの子どもも、教えてもらったことや注意点を気をつけながら磨くことができていました。普段自分で磨いている子は、前歯の裏側のブラッシングが不十分だったので、正しい歯ブラシの当て方を伝え、練習してもらいました。

自分で歯磨きをすることが難しい子は、職員が手を添えて数を数えながら一緒に練習をしました。どの子どもも模型を

手に取って真剣に取り組んでいました。人との適切な関わり方や、生活していくために必要なマナーやルールなどSSTを通して身に付けてもらい、地域社会の一員として生活することができるよう、今後も実施していきたいと思えます。

「新たな作業について」

●工房みさきスタッフ 阪井 良成

職員会議にて、就労継続支援B型における資源回収活動について、2グループに分かれて話し合いを行いました。1グループでは、活動の効率化として、資源回収ルート見直しについて。2グループでは、集中力の持続が困難な利用者さんの新たな作業について、話し合いました。

1グループでの話し合いでは、「生活介護サービス内で実施している資源回収活動と連携し、トラックを使用する日数を減らせるよね?」と話があり、毎週金曜日の午後回収を別日に設けて、金曜日の午後回収をなくすことになりました。

2グループでの話し合いでは、次月から新たな作業が加わることとなりました。それは「ペットボトルのラベルが剥がす。曜日、金曜日の午後という事で、取り組んでいます。作業内容としては、①キャップをはがす、②ラベルをはがす、③残液があればバケツに流す、④袋に入れるという手順になります。」

作業は、主に以前、資源回収活動を行

ついていた利用者さんを対象に提供しました。初めての作業といつこともあり、少し戸惑っている方もいましたが、お手を提示することで参加出来るようになる方もいました。

提示しても、中々参加出来ない方については、職員と一緒に付き添い取り組むことで、参加出来るようになりました。作業にマッチする方もいましたが、難しい方もいる状況で、試行錯誤を繰り返しながら時間はかかると思いますが、少しずつ定着していけばいいと思います。

ラベルはがし以外では、ファーム作業にも取り組んでおります。この時期は、熱中症にならないようこまめに水分を補給し、休憩を取りながら取り組んでおります。

抜いても抜いても次々と雑草が生えてくるので、あまり成果は感じられませんが、みんなでコツコツと日々雑草を抜いております。



眼に見えぬ敵との戦い(Part II)



愛の家施設長
川口 和寛

口頃は、事業団並びに愛の家の運営にご理解とご協力をいただき、有難うございます。昨年のこの時期、初めての緊急事態

宣言が解除となり、新型コロナウイルスとの戦いも少し落ち着きを見せるかの様相があり、「何とか無事に乗り越えることができました。」という言葉を書いた記憶があります。

その後、今年に入り2回、3回と緊急事態宣言が発令され、大阪では現在もまた4回目の緊急事態宣言が出ている状況であり、愛の家では、引き続き利用者さんの帰宅・外出・面会等の制限をさせていただいております。

保護者様には、制限期間が長期にわたりご迷惑をおかけしておりますが、利用者さんの健康を第一に考え、今一度ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。

さて、愛の家のある岬町ではワクチン接種も順調に進んでおり、6月上旬には利用者さんと職員向けにワクチン接種の話をいただき、7月5日に始まり、8月6日をもち、計150名が接種を終えることができました。

施設としては、ワクチン接種が完了すれば制限解除も検討しておりますが、新たな変異株が猛威を振るっているということで、現在も制限を継続させていただいております。

今年で愛の家は50周年です。残念ながらこれまでのイ

ベントは何も出来ませんでした。

しかしながら、60回目を迎える運動会(10月)は、何としてでもやりたいという思いがあります。また、11月には地域の民生委員さんに開催していただくバーベキュー大会、12月にはクリスマスイベントも予定しております。

利用者さんとの外出についても、ブドウ狩り、ミカン狩り、イチゴ狩りと、後半に予定しております。利用者さんにもレクリエーションや外出についてずっと我慢してもらっていたので、実施できれば思う存分楽しんでみたいと思っております。

そのために誠に申し訳ありませんが、今しばらく皆様のご理解とご協力をお願いいたします。2週間に一度のPCR検査も順調に実施できております。

今日まで、私たちは新型コロナウイルスと戦ってきました。

ワクチン接種が終わり、今までのような平和な日常が訪れることを願って、これからも職員同、引き続き気を緩めることなく、感染防止に最善を尽くすとともに、利用者さんの生命と生活を守ることに尽力して参ります。

口頃からご支援をいただいております各団体の皆様や地域のボランティアの皆様におかれましては、長らくのご無沙汰ではありますが、あと少しで再会できることと信じ、職員一同、心待ちにしております。

事業団、そして愛の家は新たな50年に向け、ゆっくりと進んで参ります。

より一層のご支援とご協力、よろしくお願いたします。



「ノーリフトケアの導入・定着」を目指して

●特養部門長 原田 浩樹

この度、あいハート須磨で発生しました新型コロナウイルスの感染につきましては、関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

さて、あいハート須磨特養では、2020年度からの中期計画の取り組みとして「ノーリフトケアの導入・定着」を目指しています。この度、ノーリフトコーディネーター養成講座を修了した職員による施設内研修を開催しました。まずは事前に職員に対し「腰痛アンケート」を実施しました。どのような場面ですぐにどの痛みが発生しているのかを調査した結果、約7割以上に腰痛があり、移乗介助や排泄・入浴介助の場面で発生していることが分かりました。また、重たい入居者様の介助では全ての場面において腰痛のリスクがあることも分かりました。

まず第1回目の研修会は、導入部分で「ノーリフトって何？」から始まり、その必要性や目的等を説明しました。ノーリフトケアについて興味や関心を持つてもらったためにも「スライディングシート」の紹介をしました。第2回目の研修会では「スライディングボード」を使うベッド⇄車椅子間の移乗を体験しま



した。介助する側も介助される側も、初めて経験した職員は「おー」と声が出ていました。順番に交代して実施し「思ったより簡単に移乗できた」と感想を言われていました。このような体験や訓練を繰り返して行って実践につなげたいと思います。

介護現場における「腰痛」は深刻な問題になっており、腰痛の不安を抱えながら仕事をすることも多く、腰痛が原因で離職に繋がることもあります。

そのような問題を改善するためにも、ノ



「選択プログラム」「書道教室」

●須磨ダイサービススタッフ 宮原 璃凧

ノーリフトの必要性や目的を理解しながら定着できたらと思います。ノーリフトケアによって、単に道具や機械を使用するだけでなく、職員・入居者様がお互いに「安全で安心」と感じることが出来るケアを目指します。

私は、十四年間習字教室に通う中で、高校一年生から高校三年生までアシスタントとして生徒の指導に携わらせていただき、三年間の中で『日本習字』の師範免許も取得しました。その師範免許を活かし、選択プログラムの新メニューとして今年五月より『書



るように個別ケアを実施していくのが目的です。

『書道教室』は午後から小グループに分かれて実施しています。まずは基礎となる『止め』『はらい』『跳ね』を練習し、次にお手本を見て文字を書き始めます。書いた文字を添削し、添削をもとに再度書いていただくのを繰り返して行かない、最後に作品を一枚仕上げています。数名の方はご自身の作品だけではなく、見本も持って帰り、自宅で練習されています。

また、Sさんはとても意欲的な方で、初めは「習字を久々に書いてみたいな。」とおっしゃられたのがきっかけでした。Sさんは習字の経験者でしたが、しばらく字を書かれていないとの事でしたので、基礎から始める事となりました。始めは、バランスを取ることが難しかった為、筆と一緒に持ち練習をしていましたが、現在は次の段階に入り、声を掛けながら「自身で書けるように練習し



ている最中です。
利用毎にその作品は増えていき、ご家族も「今日も綺麗に書けたね。」と大変喜んで下さっています。『書道教室』は、Sさんにとってデイサービスを利用する上で目的の一つとなっていて、私も喜びの声にやりがいを感じています。

今後は、月一回作品展を開き創作意欲を高めていきたいと思っています。開始した当初は五人でしたが、「私もやってみてみたい」と参加人数も少しずつ増えてきています。現在は不定期で実施していますが、ご参加したい方はいつでもお声をかけて下さいね。皆様のご参加をお待ちしております。

在宅での看取りに 関わり気づいた事

● 居宅介護支援事業所 ケアマネジャー
今城 ゆり

最近、介護支援専門員として癌末期のご利用者お二人の在宅での看取りに関わらせていただきました。

Aさんは、癌と診断され入院3カ月で二度は家に戻りたいと希望し在宅に戻られました。在宅で2週間過ごされ、ご家族に見守られながら静かに息を引きとられました。食欲もなく自宅

は無理との病院の心配をよそに、病院では食べれない好物の刺身や、ご家族の手料理を美味しく召し上がりながら入浴サービスを利用し、湯船に浸かると「あゝ気持ちいい」の一言。皆が笑顔になりました。

定期巡回型訪問介護が一日に何度かサービスに入り、ご家族の負担を軽減。訪問看護も毎日訪問し、緊急時は時間を問わず深夜でも訪問してくれます。不思議な事に痛みも在宅では軽減していました。家族が傍にいる安心感。訪問診療、訪問薬剤師は会話が出るぐらいの緩やかな医療用麻薬を調整しています。

Aさんは最期まで住み慣れた自宅で、家族との大切な時間を過ごす事が出来ました。

Bさんは、高齢のご主人と二人暮らし。医師は施設入所を勧めますが、ご主人の元で生活する事を望まれます。私はBさんの希望通りに介助するご主人の体調が心配でした。その時、看護師とヘルパー事業所から、ご主人が後悔しないために、ご主人の思う様にしてみたいかと提案されました。

自分の価値観を押し付けていた事を反省しました。ご夫婦が大事にしている事



を最期まで寄り添い支援する事を教わった様に思います。ご主人の姿を見ながらベッドで休むBさん。長年連れ添ったご夫婦の貴重な時間に思われしました。

これからは、病院、施設、在宅と、望む場所、望む最期の過ごし方を、誰もが選べる様に選択肢が広がっていけば良いなと強く感じました。

あいハート 離宮前

命

● あいハート 離宮前主任 國松 映二

テレビや新聞などの媒体で、毎日のように報道されている痛ましい事故の数々。目にする度に涙が流れて、辛く悲しい気持ちでいっぱいになります。命とは何でしょうか。昨日と今日とでは時間以外に何が変わるのでしょうか。過去と現在。失われるはずのない命。失われるべきではない命。事故は生命を奪うだけでなく、日常を奪い、人生を奪っていきます。

私たちは介護の仕事に従事しています。ご入居いただいている方々の生活の中に入り込んでの仕事です。ご入居者お一人おひとりには人生があります。命があります。しかし仕事中、常にその「命」を意識してご入居者に向

き合っているかといえ、そうではないと思います。

体が不自由になられていくお姿をみたとき。また、お元気で何でもご自身でされていた方が、介助を必要とされるようになられたとき。そして「死」に面したときです。

昨日まで見せられていた優しいお顔。さっきまで触れることのできた温かな手。命の尊さを重く受け止める瞬間です。私たちが一番失くしてはいけない思いだと考えています。我々職員的生活時間が、日常的に当たり前のように流れていくように、ご入居者の皆様方の時間も当たり前のよう流れしていきます。

ただ、介護を志す者としては、決して流してはいけない貴重な時間だと思っています。そこには命が詰まっています。その方の人生が、何十年もの時間をかけて積み上げられています。大切に、丁寧に、優しく扱わなければいけないものです。

介護は人です。お受けになる相手も、お世話をさせていただいている我々も。だからこそ、これからもずっと、「命」を大切に思い、丁寧な介護を心がけていきたいと思っています。そうしなければいけないと思っています。



就任のご挨拶



理事長
橋本 寿樹

6月19日の理事会・評議員会で理事長に選任され、就任いたしました。理事長に就くのは約4年ぶり、2度目となります。

皆さんもご存じのように、全電通近畿社会福祉事業団は、今年で50年目を迎えました。この間NTT労組の後援会活動をはじめとする諸団体や個人の皆様からの寄付金。および情報労連・NTT労組組合員や退職者の会の皆さんの日常的なボランティア活動や地域、行政の皆様方にも支えられながら安定した運営を継続してまいりました。しかしながら、2015年(平成27年)の介護報酬のマイナス改定以降、非常に厳しい経営状況が続いています。

収入の大半を占める報酬改定の影響は大きく、人材確保難による人件費の高騰に加え、施設の経年劣化による改修や固定資産の更改等、必要不可欠なコストも大きくのしかかっています。2020年度決算においては、あいハート須磨におけるディサービス事業の閉鎖による収入減や新型コロナウイルスの影響も大きく過去最大のマイナス決算となりました。今後も厳しい収支状況が続くことが想定されることから、さらなる3施設の一体的な運営を図り収支改善に取り組んでいくこととします。

なかでも介護報酬の改定により収支状況が厳しい「あいハート須磨」については、増築工事(20床)および新規事業である脳梗塞リハビリ事業の開始による増収施策を進めています。「愛の家」「あいハート離宮前」についても収益確保に向けて取り組んでいます。また、2023年度9月末で「あいハート須磨」の土地無償契約が終了することから、関係組織との対応を進めていくこととします。

事業を継続していくためには、人材確保・育成も喫緊の課題です。この間あらゆるチャ

ネルを通じて人材確保に努めてきました。

数年前からはEPAによる外国人労働者の受け入れに取り組み、ベトナムから介護福祉士候補生を採用しています。引き続き人材確保に向けて、関係団体との連携強化を図り、常に新たな施策を検討し、実践していくこととします。人材育成については、各施設の職員のキャリアアップを図り、将来的に経営に携わる人材を育成していかねればならないと考えます。労働組合が設立した趣旨を忘れることなく働く人を大切にするとするバランスのとれた組織・体制づくりを目指していくこととします。

「愛の家」「あいハート須磨・離宮前」は、地域の福祉拠点として広く認知されており、その存在価値は非常に高いものがあると考えます。諸先輩方が崇高な理念に基づき設立し、50年の長きにわたり運営してきた「全電通近畿社会福祉事業団」を今後も永続的に運営していくために、全力で取り組んでいくこととします。

皆様方の引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2021年度 第1四半期 運営状況

資金収支計算書

2021年4月1日から6月30日までの累計

	本 部	愛の家+きぼう	あいハート須磨	あいハート離宮前	脳梗塞リハビリ ステーション神戸須磨	合 計※
介護保険事業収入	0	0	108,271,913	29,302,509	0	137,574,422
老人福祉事業収入	0	0	0	30,278,375	0	30,278,375
リハビリ等事業収入	0	0	0	0	4,623,300	4,623,300
児童福祉事業収入	0	21,756,374	0	0	0	21,756,374
就労支援事業収入	0	655,979	0	0	0	655,979
障害福祉サービス等事業収入	0	94,704,452	0	0	0	94,704,452
経常経費寄付金収入	8,742,747	0	133,956	68,630	0	8,945,333
受入利息配当金収入	861,586	21,681	27,478	0	0	910,745
その他の収入	27,192	604,771	1,562,676	648,984	0	2,843,623
事業活動収入計(1)	9,631,525	117,743,257	109,996,023	60,298,498	4,623,300	302,292,603
人件費支出	6,007,644	73,016,637	92,609,978	37,785,014	2,876,132	212,295,405
事業費支出	133,435	17,118,362	16,373,921	7,963,508	177,916	41,767,142
事務費支出	3,657,156	17,485,243	7,826,716	8,177,139	1,693,041	38,839,295
就労支援事業支出	0	749,105	0	0	0	749,105
利用者負担減免額	0	0	21,072	0	0	21,072
支払利息	0	0	0	619,054	0	619,054
その他の支出	0	254,963	1,593,688	616,186	0	2,464,837
事業活動支出計(2)	9,798,235	108,624,310	118,425,375	55,160,901	4,747,089	296,755,910
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-166,710	9,118,947	-8,429,352	5,137,597	-123,789	5,536,693
施設整備等収入(4)	0	0	65,104,500	9,000,003	0	74,104,503
施設整備等支出(5)	0	396,220	1,451,307	8,028,590	0	9,876,117
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	-396,220	63,653,193	971,413	0	64,228,386
その他の活動収入計(7)	0	310,000	975,680	305,712	1,308	1,592,700
その他活動による支出(8)	1,021,506	442,240	200,000	0	0	1,663,746
その他活動収支(9)=(7)-(8)	-1,021,506	-132,240	775,680	305,712	1,308	-71,046
当期資金収支差額合計(3)+(6)+(9)	-1,188,216	8,590,487	55,999,521	6,414,722	-122,481	69,694,033

※合計欄は内部取引消去により各拠点の合計とは一致しません。

ボランティア活動状況

新型コロナウイルスの影響により、受入れを制限しております。

	愛 の 家			あいハート須磨・離宮前			合 計		
	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計	NTT労組・ 退職者の会	その他	計
利用者支援	0	0	0	0	12	12	0	12	12
施設運営(行事等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備	0	0	0	13	0	13	13	0	13
合 計	0	0	0	13	12	25	13	12	25

事故発生状況

	愛 の 家			あいハート須磨・離宮前		
	受診	診察不要	計	受診	診察不要	計
転倒による裂傷、骨折等	3	0	3	6	0	6
誤飲・誤嚥・誤薬	0	0	0	0	0	0
裂傷、骨折、その他	0	0	0	0	1	1
無断外出	0	1	1	0	0	0
合 計	3	1	4	6	1	7

お客様の声 承り状況

	愛の家	あいハート須磨・離宮前
ケア・支援内容	0	0
接客態度	0	0
嗜好・要望	0	0
設備・備品不備	0	1
その他(家族対応等)	0	3
御礼	0	1
合 計	0	5

お知らせ一覧



大阪市「大阪活躍リーディングカンパニー」の認証(二つ星)を取得しました!!

2022年4月から常時雇用する労働者が300人以下の中小企業についても「女性活躍推進法」が義務化され、女性の活躍に向けた数値目標の設定や行動計画の策定などが求められます。本法への対応に向け更なる女性の活躍に向けた取り組みを推進して参ります。



愛の家HPがリニューアルしました!
<https://www.ainoie.jp/>



あいハート須磨求人サイトがOPENしました!
<https://www.ai-heart-suma.or.jp/lp/>



ご寄付について

日頃は法人の経営に対しまして、寄付金やボランティア等のご支援を賜り誠にありがとうございます。
 昨年もNTT労働組合様による事業団後援会活動の取り組みをはじめ、退職者の会大阪支部協議会様による愛のキャンやNTTグループ各社様のマッチングギフト等、多くの団体、個人様より総額22,461,981円の寄付金及び寄贈品等を頂戴いたしました。

寄付者	2020年度寄付金額
NTT労組 後援会様	13,869,618
NTT労組 退職者の会大阪支部協議会様(愛のキャン)	850,000
NTTグループ会社様(マッチングギフト)	3,802,800
その他(各企業、個人様)	3,939,563
寄付金合計	22,461,981

建設資金キャンを頂戴しました!

電通共済生協様、ユアサポート株式会社様より、あいハート須磨増築に対しまして、ご理解、ご賛同いただき、建設資金キャンを頂戴しました。
 新型コロナ禍の中、ご対応戴きましてありがとうございました。



電通共済生協 高田理事長 ユアサポート(株) 副島取締役

引き続き皆様からのご支援をお願い致します。

「あいハート須磨」の増築工事はほぼ計画通りに進んでおり、今年の10月末頃には完成する予定です。完成後は既存の居室のプライバシー改修工事に着手し、ご入居者様にとりましてより快適な生活が送れるよう環境を整備して参ります。
 引き続き皆様からの「建設資金キャン(1口1千円〜)」を募っておりますので、何卒ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

— ご支援をくださった方々 —

《6月》寄贈品

ダスキン 様
 (計1件)



ありがとうございました

《7月》後援会費

NTT大阪支店 社会福祉推進委員会 様
寄付金
 西尾 多美代 様
 安崎 貞宣 様
 電気通信産業労働者共済生活協同組合 様
 ユアサポート(株) 様

寄贈品

ダスキン 様
 (計6件)

改めまして、ご寄付を頂戴しましたNTT労働組合各分会をはじめ、NTT西日本グループ他、全ての皆様に感謝申し上げます。

「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等のようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 072-494-0123
- あいハート須磨 078-737-2525
- あいハート離宮前 078-731-2130
- 法人本部 06-6458-5723

【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団
 〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73
 TEL 06-6458-5723
 Website <https://zendentu-kinki.jp>
 Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>
 E-mail jigyodan@silver.ocn.ne.jp

【発行人】

理事長 橋本 寿樹

